



ワラビー

◆兵庫県の事業補助を受け、就業・起業のサポート事業を行なっています。厚生労働省認可「無料職業紹介所」です。

認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸
生きがいしごとサポートセンター神戸東
〒658-0052
神戸市東灘区住吉東町5-2-2 ビュータワー住吉館104
TEL 078-841-0387 FAX 078-841-0312
E-mail ⇒ info@cs-wallaby.com
URL ⇒ <http://www.cs-wallaby.com>

特集：シニアの新しい働き方

ワラビーには60代、70代の元気なシニアの皆さんが多く来所されます。仕事をしたい、有償の活動をしたいという声が多く聞かれますが、既存の求人は年齢制限等でなかなかご紹介できないこともあります。「お元気でスキルもある皆さんがご活躍いただく他の方法はないか？」スタッフで考え、現在2つの有償ボランティアの仕組みに取り組んでいます。

① アテンド・クルー

施設や在宅で手助けが必要な高齢者をサポートしています



神戸市が主催する「生活支援・介護予防サポーターの養成研修」を修了したメンバーを中心に、神戸市内で8つのグループが精力的に活動されています。アテンド・クルーには2つの種類があります。

- 1) 高齢者施設で周辺業務を担当（利用者さんの話し相手、レクリエーション、配膳・下膳、軽清掃）。7～10名のグループが2名1組になって取り組んでおり、一人当たり月1～2回程度。1回の活動2.5時間で1,500円の謝礼。
- 2) 利用者宅を訪問し、あれば助かる軽微な家事、掃除、ゴミ出し、草取りなどを行う。1時間あたり700円～800円の謝礼。

② プラチナワーク

花のお世話など、こども園の周辺業務を担っています

東灘区内の認定こども園で、花壇のお花の水やりや園周辺の簡単な清掃をしています。朝の1時間、グループメンバーが交代で活動。元気に登園してくる親子とあいさつを交わすのも楽しみの一つです。月1回のミーティングで翌月のシフトを決め、無理なくできる範囲で活動しています。季節に合った花の植え替えなど創意工夫をしながら責任を持って取り組んでいます。まずはトライアルとして行っていますが、本格始動を目指してがんばっています。



いずれも共通することは、

- 1) お互いさまの気持ちで、気兼ねなく対等な関係を大切にしたい有償グループ活動であること
- 2) 個人ではなくグループでの活動で、交代でシフトに入る仕組みのため、体調や家の都合で調整できる活動であること
- 3) 定年がないので、元気である限りいつまでも活躍できること

「自分もメンバーとして活動することに関心がある」、「有償ボランティアさんにお仕事を依頼したい」等、お気軽にお問い合わせください

【講座開催のご報告】

1) 助成金獲得のための講座「コミュニティ・ビジネス(CB)離陸応援助成 説明会」(4/7)

これから地域でコミュニティ・ビジネスを始めようとする方を対象に兵庫県しごと支援課が行う助成事業です。申請に必要な事業計画や収支計画づくりをサポートするためのセミナーを開催しました。参加者に好評だったのは、過去にこの助成を受けたゲストによる体験談です。実体験に基づき、申請の際に気を付けたことや、プレゼンテーション（二次審査）のポイントを分かりやすくお話いただきました。

兵庫県高齢者 CB 離陸応援助成金 採択団体(ワラビー経由の申請分)

	団体名	所在地	活動内容
1	コミュニティケアほのぼの	神戸市西区	福祉の総合相談窓口の設置
2	(株)スポーツシューレこうべ	神戸市灘区	シニア人材活用による女子サッカークラブを中心としたコミュニティづくり
3	悠遊倶楽部	尼崎市	コミュニティ情報誌の発行
4	姫路プログラミング普及委員会	姫路市	高齢者と楽しく学べるプログラミングの普及



2) 「戦略的広報実践講座」(6/6)



NPOなどで地域活動をしている人を対象に、広報物作成の基本を学ぶ講座を開催しました。手描きチラシを作成するワークを通してチラシ作りの基本を楽しく学ぶことができました。つい思いや伝えたいことを多く詰め込みがちですが、キャッチコピーでポイントを的確に伝えるコツを教えてくださいました。タイトル、詳細、問合せ先等のちらしを構成するものの配置を決めます。グループ毎のワークは大変盛り上がり、満足度の高い講座となりました。

3) 「ひょうごコミュニティ・ビジネス1Day スクール」(6/24)

地域の課題にビジネスの手法を用いて取り組む「コミュニティ・ビジネスCB)」を広く知っていただくためのスクールを開催。前半はCBで重要な地域とのコミュニケーションに関するワーク。賛同者や協力者を増やすために「話したいと思ってもらえる人になる」ことや、「自分から心を開き、気持ちを通わせるようにする」ことを学びました。後半は実際にCB活動をしているゲスト4名の話をお聞きしました。ゲストへの質問タイムでは、初めの一步をどのように踏み出したのか、収支はどうなっているのかというズバリ聞きたいことを伺うことができました。



4) アテンドクルー フォローアップ研修(9/6)



1面で紹介しましたアテンドクルーの皆さん対象の研修です。普段の活動で戸惑うことも多い「認知症高齢者とのコミュニケーション方法」を学ぶ研修を開催しました。「認知症の人」ではなく、一人の「人」として尊厳を持って接することが重要であることを学びました。今後ますます充実した活動ができそうな皆さんでした。

このような講座にご関心のある方は、ワラビーまでお問合せください。

【起業事例のご紹介】

手作りのお惣菜で、地域の「食」を支えます

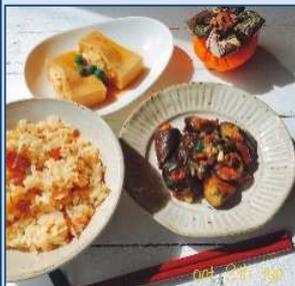
Cozyshop ナカノ代表 中野真澄さん

中央区大倉山の集合住宅が立ち並びエリアの一角に cozy shop ナカノはあります。

高齢者中心のエリアで温かい手作りのお惣菜を販売、毎日ほぼ完売という

人気ぶりです。代表の中野さんにお話を伺いました。

①起業のきっかけは？・・・夫と地域密着のコンビニエンスストアを経営する中で、近隣の集合住宅に住むお客さんが求めているものは、レトルトやスーパーのお弁当ではなく、もっと家庭的な食事ではないかと感じてきました。ちょうど子どもが独立し、時間ができたので、ママ友とランチをしながら「何かできないか」と話したことが始まりです。以前両親が



日替りの美味しいメニュー
炊き込みご飯 ¥320
こうやの挟み煮 ¥200
茄子のピリ辛炒め ¥180

住んでいたコンビニ店舗横の一軒家が空き家になり、ここを拠点としてお惣菜販売を始めることになりました。また、仲間の一人が「兵庫県高齢者コミュニティ・ビジネス離陸応援助成金」を見つけ、申請を勧めてくれたことも大きかったです。キッチンの改装費用はこの助成金を充当しました。DIY、創作、メニュー考案、写真撮影など、色々な特技を持つ仲間がいることも大きいです。

②現在の活動について教えてください。・・・日替わりで2、3名のスタッフが

午前中にお惣菜3品を作ります。地元で採れたこだわりの新鮮野菜と国産のお肉や魚を使い、安心して召し上がっていただいています。一日25食を用意しほぼ完売しているおかげで、売上からスタッフ5名分の人件費と材料費を支払うことができています。

③これから起業する方にエールをお願いします・・・ぜひ前向きに行動してみてください。私たちはこの活動を始めて、毎日の生きがいがありました。お客さんから「美味しかったよ」「毎日違うメニューで飽きないね」という言葉をいただいたり、完売した時はとても嬉しく、やりがいを感じます。人脈・仲間はとても大事。関わる全員がこの活動を楽しむことをモットーにしています。皆さんもお仲間と一歩踏み出されることをお勧めします。



cozyshop ナカノ 【所在地】神戸市中央区中山手通8-5-20
(水、日定休) 【電話】078-341-1659



火曜日のスタッフの皆さん♪
上原さん、幸神さん、中野さん

【就業事例のご紹介】

(株)トリドール D&I 久間武美さん(東灘区、63歳)・高松達也さん(東灘区、61歳)

障がいを持つメンバーさんと、毎日楽しく仕事をしています！

(株)トリドール D&I さんは自社の飲食店の清掃スタッフに障がい者の方(「メンバー」と呼びます)を雇用されています。ワラビー経由で支援員の求人に応募して採用され、リーダーとしてご活躍中のお二人をご紹介します。

①具体的にはどのようなお仕事をされていますか？

【久間さん】メンバーやリーダーの採用を担当しています。

【高松さん】現場の責任者として、メンバー10名が社会常識やマナーを身に付けられるようサポートしたり、作業中は全体を見て問題なく清掃業務が進んでいるか確認します。

②やりがいはどこなところにありますか？

【久間さん】難聴などの障がいのでふさぎ込みがちで、周りとのコミュニケーションを取らなかった方が、トリドールで仕事を始めたことで、「仲間と仕事をするのって楽しい！」と言ってくれたことが忘れられません。【高松さん】それまでの「障がい者」のイメージが根底から覆りました。メンバーさんが一生懸命、真摯に仕事に向き合い、責任を果たす姿を見て、心を動かされました。サラリーマン時代とは全く違う環境に、メンバーさんから教えてもらうことは多く、やりがいも感じています。

③これからの第二の人生へ一歩踏みだそうとしている方へ、エールをお願いします。

【久間さん】現役時代の仕事の分野から、少しだけ分野を広げると、活躍の可能性を広げられると思います。

【高松さん】人は気づかないだけで関心のあるものをたくさん持っていると思います。少しでも興味があることにはまず門をたたいてみることをおすすめします。私も初めは現役時代と同じ電気関係で再就職を目指しましたが上手く行かず、視野を広げて今の仕事にチャレンジしてみたら、上手く進みました。ぜひ前向きにチャレンジしてみてください。



久間さん 高松さん

丹波応援リレートーク

CS 神戸/ワラビーでは長年丹波での起業支援をさせていただいています。丹波でご活躍中の方々にリレー方式でご登場いただきたく、活動紹介をしていただきたいと思います♪

Vol.1 パンチーファーム 山内 延浩さん

「いらっしゃいませー。」今日も元気な声が事務所の外から聞こえてきます。ワラビーの前で毎週金曜日、丹波産の有機を中心とした野菜を販売している「パンチーファーム」の山内延浩さんです。

1. 野菜販売を始めたきっかけ

もともとプロで総合格闘技をしていたんです。体を鍛える中で、体づくりは食からという思いを強く持ちました。丹波出身ということもあり、何かできないかと思って地元に戻りました。農家さんと話をするうち、美味しい野菜を作っても販路がないという声を方々で聞きました。それなら自分がしようと思い、農家さんから野菜を買い取って販売を始めました。



2. 新しい事業にも挑戦！

新たに、農家さんから野菜を買い取り、栄養価の高い乾燥野菜にして販売する事業を始めました。2面にもある「高齢者コミュニティビジネス離陸応援事業」の助成団体に選ばれ、助成金で野菜の乾燥機を購入し事業を始めました。有機の大根、トマト、ニンジン、椎茸、黒豆などを乾燥させて販売し、好評をいただいています。



人気のドライ野菜。全て有機です！



販売風景

毎週金曜日 CS 神戸/ワラビー前にて、10時ごろ～16時ごろに販売しています。ぜひご覧ください♪

事務局耳より情報



ワラビー事務所横の通路に、最新の求人やボランティア情報を掲示しています。道行く方々に足を止めて見ていただけるよう、見やすい掲示を心掛けています。「お元気なシニアの方歓迎の求人」、「夏休み学生さんボランティア特集」などその都度特集も組んでいます。お近くを通られる際は、ぜひ覗いてみてくださいね♪

認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸(CS神戸)

生きがいごとサポートセンター神戸東(愛称:ワラビー) 担当:人羅・山村・白井

〒658-0052

神戸市東灘区住吉東町5-2-2 ビュータワー住吉館104

(JR神戸線「住吉」駅南側徒歩5分)

TEL:078-841-0387

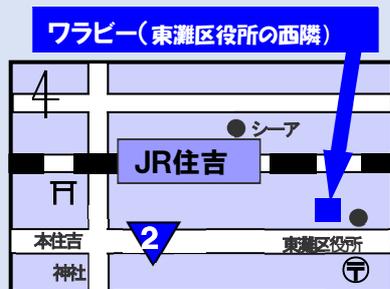
開室日:月曜日～土曜日(日曜・祝日休み)

開室時間:9:30～17:30

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

「生きがいごとサポートセンター」は、他に「阪神北」、「阪神南」、「神戸西」、「播磨東」、「播磨西」があります。

詳しくは上記までお問合せください。



【編集後記】ワラビー横のギャラリーで、地域で活動しているグループの皆さんが「うたごえ喫茶」をされている日があります。主にシニアの方が、ギターの伴奏に合わせて、青春時代の歌謡曲を口ずさんでおられ、会場から参加者が溢れんばかりの時もあり大人気です。またある日は事務所のすぐ外でとてもお上手に尺八を吹いている方がいました。きれいな音色に嬉しくなりました。皆さんもワラビーにお立ち寄りいただくと、素敵な音楽や耳より情報に出会えるかもしれません♪(Y)